SPring-8/SACLA
ポケットガイド

理化学研究所放射光科学研究センター

2019年4月版

●緊急時の対応（詳細はUIホームページで確認のこと）

1．緊急時の連絡方法

火災や負傷者が発生したときは、内線119で緊急連絡をする。緊急連絡の際は、落ち着いて自身の氏名と連絡先を伝え、場所等の状況を説明する。また、指示があるまで電話を切らないこと（消防署へは正門守衛所警備員が連絡する）。

2．緊急時の避難先

火災、地震などの災害が発生した場合は、館内放送の指示に従って、速やかにキャンパスマップの避難場所★A～Eに避難する。避難場所では、SPring-8スタッフの指示に従って行動すること。

SPring-8では、当該地域で震度4以上の揺れが予想される場合、自動的に館内放送で警告音が鳴り、「地震発生、Attention! Earthquake.」というアナウンスが繰り返し30秒間流れる。アナウンスが流れた場合は、以下のように行動すること。

（1）あわてずに、まず身の安全を確保する。

（2）転倒、落下の危険がある場所から離れ、丈夫な机の下等に隠れる。

（3）地震がおさまったら火の始末、消火を行ない、負傷者がいる場合は救護する。中央監視室等の放送に従いあわてないで近くの避難場所に移動する（エレベーターは使用しない）。

3．軽傷発生時の連絡

軽微なケガや体調不良の場合は健康管理室等で手当後、また、医療機関などで外傷の治療を受けた場合については受診後すみやかに、利用推進部（内線2225）までご連絡する。

4．その他

救急箱（外傷用）をリング棟内各扉の外側及びSACLA○○○○に設置している。

AED（自動体外式除細動器）をリング棟内A中央、B1、C1、D1扉外側、健康管理室（D3）及びSACLA○○○○に設置している。

傷病者の搬出用ストレッチャーをリング棟A1、B1、C1、D1扉外側及びSACLA○○○○に設置している。

◆健康管理室（詳細はUIホームページで確認のこと）

健康管理室は蓄積リング棟のD3にある。車椅子および急病人を横臥させるベッド（2台）を設置（利用の際は記帳が必要）。体脂肪計／体重計、血圧計、視力計、健康に関する書籍もそろえている。平日（9:00－17:30）は、看護師による応急処置にも対応している。実験中に気分が悪くなったり、負傷したりした場合は、外傷用・内服用の家庭薬も常備しているので、健康管理室（内線3299または999）まで問い合わせを。なお、夜間休日の体調不良については、研究交流施設フロント(内線8181)にある家庭薬をご利用できるのでフロント係員に連絡を。

●自転車の利用

SPring-8サイト内で利用できる自転車は研究交流施設フロントに申し出る。自転車使用者の保険加入が義務化されているので保険加入の上、安全で適正な利用をすること。 実験ホール内専用の自転車は屋外使用禁止。

●大型ロッカーの利用

中央管理棟2階の西側（ユーザーオフィス前）に設置している。

●SPring-8 ネットワークシステムの利用
（詳細はUIホームページで確認のこと）

SPring-8では無線LANによるインターネット接続が可能。
本ネットワークはPring-8/SACLA利用のために整備した共用設備。
利用には、アカウント名、パスワードおよび事前共有鍵が必要。
暗号化方式 ：WPA2-PSK(AES)
事前共有鍵(PSK)： 利用推進部のユーザーカウンター もしくは 研究交流施設のロビーカウンターにて通知
ユーザー名 ：SPring-8 ユーザーカード番号（0を含む7桁の文字列）
パスワード ：ユーザー登録時に設定したパスワード

●実験時の注意事項（詳細はUIホームページで確認のこと）

実験時は、周囲を通行する人たちの安全にも十分配慮すること。実験ホールの外周壁側は、万一の際の避難通路になるので、壁から3m 以内の場所に通行の妨げとなるものを置かない。また、実験ホールにはスプリンクラーを設置していないので、不要な可燃物は極力持ち込まない。なお、実験ホール等での飲食、喫煙、化粧直しは、規程により禁止されている。

危険物・有害物質を持ち込む場合は、ビームライン担当者に危険物保管庫の使用方法等を確認のうえ、必ず危険物保管庫に施錠して保管し、廃液は必ず持ち帰る。実験装置を持ち込む場合には、持ち込み電気機器に漏電、短絡等の異常がないことを十分確認する。また、機械的電気接点が外部に露出しているスライダック類は、清掃が不十分な場合、発火の可能性があるので注意する。

実験終了後は後片付け、整理整頓、周囲の清掃を行う。

●安全に係わる注意事項（詳細はUIホームページで確認のこと）

1．注意および警告掲示

注意（警告）掲示のある場所には関係者以外立ち入らないこと。

2．低温作業（液化ガス等の取扱い）

低温作業を行う場合は、専用の保護具を着用する。また、安全管理室で、超低温液化ガスの取扱いに関するビデオ講習を受講する。

3．高温作業（高温装置等の取扱い）

高温作業を行う場合は注意（警告）を掲示し、専用の保護具を着用する。

4．重量物の取扱い

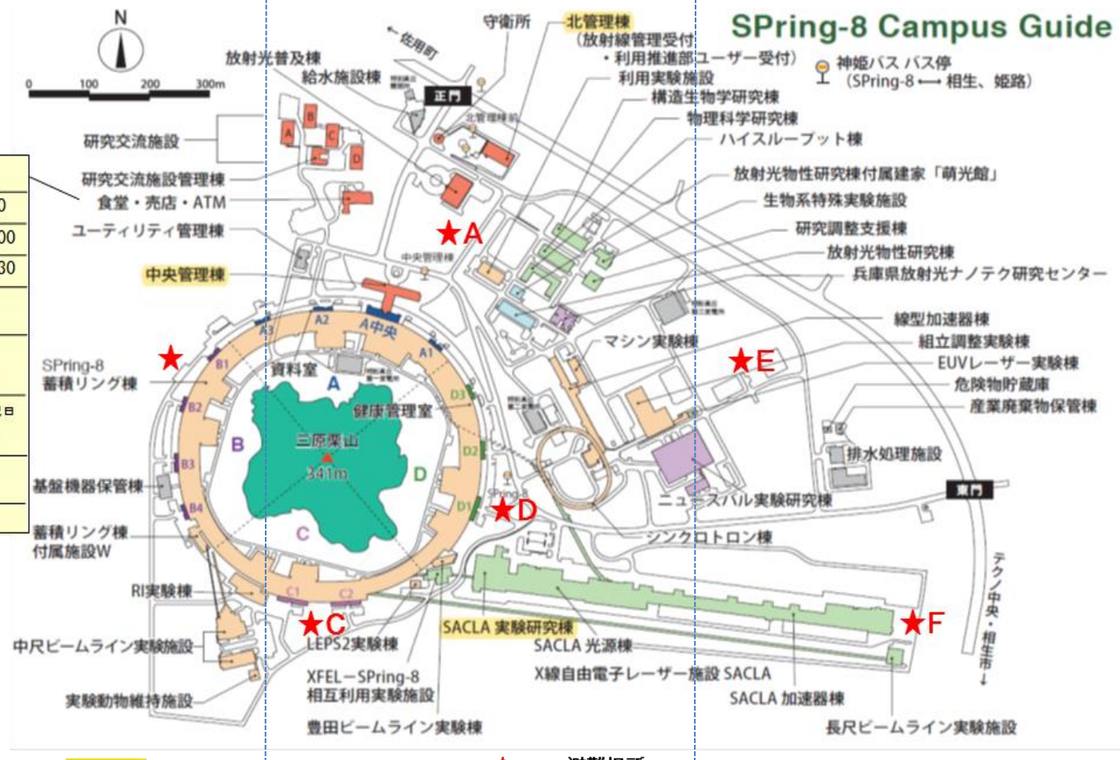
重量物の移動などをするときは、必ずヘルメットと安全靴を着用する。なお、クレーンを使用する場合は、ビームライン担当者に相談する。

5．単独実験の回避と過労による事故の防止

一人だけでの実験はしないこと。特に、夜間や休日には、実験を一人で行わないよう、共同実験者の間で適切な作業計画を立てる。また、体調を崩したり事故に巻き込まれたりするのを予防するため、睡眠や休息を十分にとること。

食堂営業時間	
朝 食	7:45～9:30
昼 食	11:30～14:00
夕 食	17:30～19:30

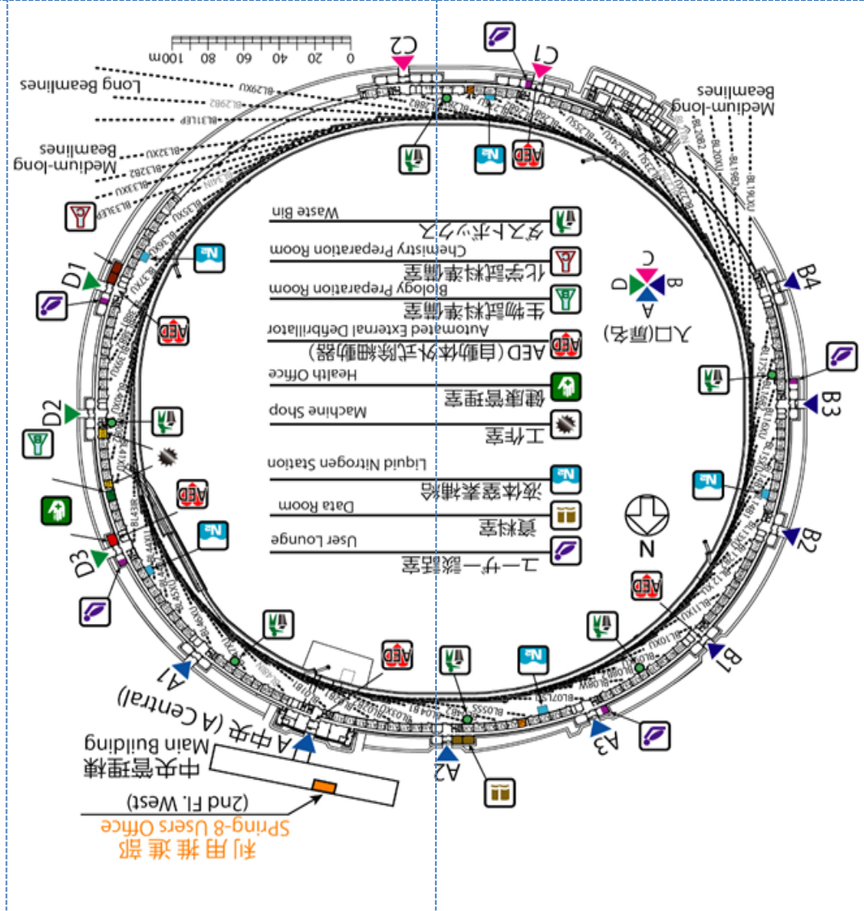
売店営業時間
年末年始除く平日
10:30～20:00
ユーザータイム中の土日祝日
11:00～14:00
ATM 営業時間
7:45～20:10



食堂営業時間	
朝 食	7:45～9:30
昼 食	11:30～14:00
夕 食	17:30～19:30

売店営業時間
年末年始除く平日
10:30～20:00
ユーザータイム中の土日祝日
11:00～14:00
ATM 営業時間
7:45～20:10

ユーザーカード、線量計返却箱設　★A～F 避難場所



ユーザー用共通実験機器

1．メスシリンダセット（IP）読取装置 BAS-2500
2．ビーカーセット＋冷却CCDカメラ
3．X線イメージインテンシファイアー＋高速CCDカメラ
4．フランパイプ検出器
5．ウラニウムシャッ

UIホームページの手続きに従って使用。

自販販売機

設置場所	商品内容
A1	飲料
A中央	飲料、カップ麺、レトルト釜飯、スナック菓子
A2	飲料
A3	飲料 業務補助スナック
B1	飲料
B2	飲料
B3	飲料 実験ホール内での飲食は禁止
B4	飲料
C1	飲料 カップ麺、パン、スナック菓子
C2	飲料
D1	飲料
D2	飲料
D3	飲料

ユーザー用共通実験機器

ユーザーカード：使用可能なスキャナー検討中

AED（自動体外式除細動器）：B1、C1、D1扉外側、健康管理室(D3)

傷病者搬出用ストレッチャー：A1、B1、C1、D1

救急箱（外傷用）：各扉

自転車空気入れ設置場所：A中央、D2　パンクや故障等連絡先：PHS: 3826

ユーザーカード、線量計返却箱：1F ホールエ階段上り口近辺

自販販売機（飲料）：2F試料準備室6同じ小部屋

生物試料準備室

部屋番号	設備・機器リスト
D24（D2扉とD3扉の中間）	製氷機、純水製造システム、遠心機（2種）、分光光度計、超低温フリーザー、冷蔵庫、インキュベーター、実体顕微鏡、超音波洗浄器、チェーブロータータ、恒温水槽、ホットプレート、ブスエルビーター、ヒートブロック、蛋白分離精製システム（FPLC）、電子天秤、pH メーター、マグネチックスターラー、ホットカーナー、ユーザー用ロッカー ※有機溶剤を用いた実験は禁止

利用についての質問担当　岩本（内線：3884 / e-mail: iwamoto@spring8.or.jp）

生物試料準備室ホームページ：UIホームページからリンク（詳細及び注意事項確認のこと）

化学試料準備室

部屋番号	設備リスト
d#1（D1扉すぐ南）	ガス供給設備（窓気、窒素、アルゴン）、ドラフトチャンバー、実験台、流し台、測定台、スクラバー機器リスト、AED（自動体外式除細動器）、ラジオペンチ、ペンチ、ニッパ、ドライバー、ハンマー、ペンチ、ラジオペンチ、ドライバー、ハンマー、ニッパ